

自由律俳句

おおくさ編集室選

ざっくり剥いて果汁滴る伊予柑頬張る 茶屋 木山 操子  
 一人居に不要と思うワクチン三回終える 生山 渡邊 圭子  
 何処が痛いのと尋ね合った待合室 茶屋 岸本 治枝  
 希望の春が不安に包まれてやって来る 茶屋 藤原 寿郎  
 去年と同じ事は無理かと野菜苗の注文を減らす 茶屋 長谷川由美子  
 受話器おき暫くふる里の余韻に浸る 茶屋 小林 道子  
 孫娘の白い指先ネイルが映える 神戸上 柴田 篤子  
 美しい月布団の中まで抱いた月 茶屋 木山 輝子  
 友との旅懐かしくアルバムめくる 宝谷 長尾 智恵

俳句

駄句駄句会編集室

菜の花を ふと手渡され ゆがく宵 萩原 岡本 健三  
 針供養 洋裁和裁 過去となる 宮内 木村萬佐子  
 診察室 手作り雛の ちんまりと 宮内 田邊登志美  
 くぐり戸の 庭に紅かぐ 春告草 宮内 船越 裕子  
 掛絵雛 女のまつり 遠き日の 矢戸 和田 淑子  
 娘より 鈴でかざった 春財布 神戸上 笹間 玲子  
 谷からも 水音たかく 春を呼ぶ 萩原 金谷 松代  
 干柿の かたさおどろく 入歯かな 霞 渡邊 文照  
 春の風 寝おきえんどう 竹たてて 下石見 矢田貝 元

短歌

平成に続く令和を吾が郷も 共に祈るや世界平和を  
 阿毘縁 木村 民子  
 美しき星のきらめき仰ぎ見て 吾が鳥取に住むこと誇りなり  
 湯河 山田 司郎  
 ご先祖はお変りなきや墓掃除 彼岸や盆の足の速さよ  
 湯河 山田 司郎  
 新品のカメラ片手に散策す 小鳥を追って森林へ分け入る  
 下石見 浅川 三郎  
 春来たり石霞の峰にこぶし咲く 何時もの景色田舎の風情  
 上石見 福田 輝之  
 藪はらにケキョと微かな幼鳥の 姿隠して初音や聴ゆ  
 春暖に心浮かれて一杯を 今宵まだまだ時は花冷

人の動き (敬称略)

ご誕生おめでとうございます

氏名	届出人	住所
中村 一千映	陸	神福
宮口 福達	翔平	霞
大森 麻風	幸二	菅沢
片岡 朱莉	拓人	下石見

お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	住所
細田 禮子	90歳	折渡
岸 利男	93歳	下阿毘縁
大塚 千栄子	100歳	下阿毘縁
岸 利幸	64歳	下阿毘縁
長谷川 佐枝子	85歳	福塚
岸 満林子	71歳	茶屋

(令和4年3月16日～令和4年4月15日受付分)

■世帯 1,925 (-6) ■人口 4,212 (-10)  
 ■男 2,000 (-10) ■女 2,212 (±0)

外国人を含めた世帯数と人口を掲載しています。令和4年3月末日現在

「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

5月の日程

15日(日) 14時～15時30分

場所 文化センター第3研修室

【問合せ先】

石田由香里(08030529933)  
 浅野 博美(09097341887)

「5月」



両手を自分に向け胸の位置で交互に上下させる。



右手と左手をあわせ右から左へ3回ずらす。



左手の親指を横に伸ばしその下で右手の親指と人差し指を付けて下げながら離す。

「手話表現には、色々な表現方法があります。」